平成30年度 博物館年間スケジュール

●年間スケジュールは変更となることがあります。今後発行される「山と博物館」「広報おおまち」などをご覧ください。
●家庭の日（毎月第３日曜日）とその前日の土曜日は大町市民の入館料が無料です。（長野県民割引）
●年間を通じて65歳以上・小中学生の大町市民は入館料が無料です。

山岳博物館　市民「無料」開放デー

博物館では、毎月第３日曜日（家庭の日）とその前日の土曜日を「大町市民無料開放デー」としています（これらの日については、大町市民以外の長野県民は団体割引料金でご覧いただけます）。４月は14日（土）と15日（日）です。

月（家庭の日）	常設展・企画展・関連イベント	講座・観察会・展示会など
4月（14・15） 5月（19・20） 6月（16・17）	**常設展　「北アルプスの自然と人」**　※通年 １Ｆ常設展示	**講演会「楽しく安全な登山のために」** 講師：高橋恵子氏（信州大学医学部附属病院看護師） ４月15日（日）　午後３時10分～　会場：大町山岳博物館講堂 （主催：大町山岳博物館　共催：山岳博物館友の会） **カクネ里氷河シンポジウム＆パネルデスカッション　岳のまち大町に「カクネ里氷河」あり！（仮題）** ６月９日（土）　午後（時間未定）　会場：サン・アルプス大町 主催：大町市（産業観光部所管）大町市教育委員会（山岳博物館所管） 共催：大町山岳博物館友の会　他 **カクネ里氷河見学ツアー（仮称）　自然史大国信州を歩く　～日本の氷河カクネ里編～** ６月23日（土）　午前９時30分～午後３時 集合場所：白馬五竜エスカルプラザ前 （主催：長野県環境保全研究所　共催：大町山岳博物館）
7月（14・15） 8月（18・19） 9月（15・16） 10月（20・21） 11月（17・18）	**企画展「北アルプス誕生―激動の５００万年史」** ７月21日（土）～11月25日（日） **■オープニング記念ミュージアムトーク** ７月21日（土）２回開催　午前10時～　午後２時～ **■さんぱくこども夏期だいがく　親子の化石教室「信州が海だった頃」** （雨天時は「親子の鉱物教室〈地球の宝石箱づくり〉」） ８月５日（日）午前10時～正午（雨天時は大町山岳博物館） 会場：小川村立屋【現地集合・解散】 **■北アルプス地質見学登山　「爺ヶ岳にカルデラ湖があった頃」** ８月18日（土）～19日（日） 行程：柏原新道-種池山荘-爺ヶ岳中央峰-種池山荘-柏原新道　１泊２日 宿泊：種池山荘（１泊） **■企画展特別講演会「地質探偵ハラヤマ先生：北アルプス研究の最前線を語る」** 10月21日（日）　午後１時30分～３時30分 講師：原山　智先生（信州大学教授） **■秋のティールーム「北アルプスのふしぎ」** 11月４日（日）　午後１時30分～３時30分 講師：矢野孝雄（山岳博物館専門員） （主催：大町山岳博物館　共催：大町山岳博物館友の会）	**観察会「花と昆虫ー生物間関係を学ぶin針ノ木雪渓」** ７月18日（水）～19日（木） 会場：長野県山岳総合センターほか （主催：長野県山岳総合センター　共催：大町山岳博物館） **自然ふれあい講座　「みんなで温暖化ウォッチ　せみのぬけがらを探せ！」** ８月３日（金）　午前10時～正午 会場：大町山岳博物館周辺 （主催：長野県環境保全研究所　共催：大町山岳博物館） ２Ｆ常設展示 **山岳博物館常設展スペシャルガイド** 11月～３月（第３日曜日）、要予約 学芸員等による特別ガイド
12月（15・16） 1月（19・20） 2月（16・17） 3月（16・17）	**常設展** **「北アルプスの自然と人」**　※通年	

編集・発行
市立大町山岳博物館 OMACHI ALPINE MUSEUM ―創立 1951 年―
〒398-0002　長野県大町市大町 8056-1
市立大町山岳博物館　編集責任者　鳥羽章人
TEL. 0261-22-0211　FAX. 0261-21-2133
E-mail:sanpaku@city.omachi.nagano.jp
URL:http://www.omachi-sanpaku.com

4月号
第 63 巻　第３号
2018 年

発行日　2018（平成 30）年３月 27 日
印　刷　有限会社北辰印刷
〒398-0002 長野県大町市大町 3871-1
TEL.0261-22-3030　FAX.0261-23-2010

〒398-0002　長野県大町市大町 8056-1
TEL. 0261-22-0211 FAX. 0261-21-2133
E-mail:sanpaku@city.omachi.nagano.jp
URL:http://www.omachi-sanpaku.com
市立大町山岳博物館公式 Web サイトは、
大町山岳博物館友の会の支援により博物館が運用しています。

OMACHI ALPINE MUSEUM
市立 大町山岳博物館

山と博物館

「山と博物館」は、大町市役所および市内社会教育施設で、設置・配布しているほか、博物館公式 Web サイトからもご覧いただけます。

4月号
第 63 巻　第３号
2018 年
無料 Free

もくじ

今月の１枚 …… １ページ
・新ライチョウ舎が完成しました（供用開始は６月予定）
・山と博物館が季刊誌となります
平成29年度　さんぱく昨年の活動から …… ２・３ページ
平成30年度　博物館年間スケジュール …… ４ページ

博物館施設案内はこちら

新ライチョウ舎完成

新ライチョウ舎が完成しました。（供用開始は６月予定）

鳥羽　章人

大町山岳博物館では、環境省のライチョウ保護増殖事業のひとつで、平成27年度にライチョウ舎を３棟建設し、同年度よりスバールバルライチョウの飼育を開始しました。

翌、平成28年度には、乗鞍岳より採卵したニホンライチョウの卵を孵化し、12年ぶりに日本ライチョウの飼育を再開しました。その後、平成29年度には繁殖事業にも成功し、現在はオス２羽とメス４羽の６羽を飼育しています（３月27日にオス１羽を那須動物王国へ繁殖のため移動）。

平成30年度も引き続き繁殖を行いますので、ニホンライチョウの個体数は増える見込みですが、個体数増に対応するため、平成29年度事業で新たなライチョウ舎を建設し３月中旬に完成しました。供用開始はライチョウ飼育・繁殖のために万全な準備を行い６月頃になります。

新しいライチョウ舎には５つの飼育室を設けてあり、内２つは観察室から観覧できる構造で今後のニホンライチョウ公開にも対応できる施設となっています。

ニホンライチョウは当面、非公開のままで直接にはご覧いただけませんが、供用開始後はモニターでライチョウの生態を学ぶこともできる施設ですので、ご期待ください。

（市立大町山岳博物館　館長）

山と博物館が季刊誌となります

【発行予定：夏号（６月末）、秋号（９月末）、冬号（12月末）、春号（３月末）】

大町山岳博物館では、昭和31年から「山と博物館」を毎月発行し、機関誌として地域の自然や付属園の動植物の紹介、旬な話題、博物館の調査研究など幅広く紹介してきましたが、現在は、調査研究に関しては「研究紀要」、企画展に関しては「解説書」へと役割を分担し、「山と博物館」については、博物館活動を多くの市民が知り、利用していただけるよう平成26年から広報誌として発行しています。また、配布方法は年１回の市内全戸配布や、各月ごとに市役所ロビーや市内社会教育施設等への設置、関係機関等への送付でしたが、更なる広報誌としての取り組みの充実が求められているため、広報方法を一新し、平成30年度からは市民の皆様が山岳博物館をより身近に感じていただけるよう「山と博物館」を８ページ、季刊（年４回）で発行し、従来配布していた関係機関等はもちろん、市内全戸に毎回配布することとしました。ご理解の程よろしくお願いします。

さんぱく　昨年の活動から

平成 29 年度に行った山岳博物館の行事、活動についてご紹介します。山岳博物館では平成 30 年度も、企画展やイベントを計画しています。また、博物館が行うべき研究や研究成果の社会還元に努めてまいります。皆様のご参加ご来館をお待ちしております。

大町山岳博物館友の会　総会記念講演会

「セブンサミッター・山田淳氏 講演
～登山界の革命児が語る山の魅力と山岳文化の未来～」

◎平成 29 年 4 月 16 日（日）開催
講演を通じ、高所登山への挑戦のようすを知っていただくとともに、国内登山界の現状と課題、山岳文化の未来について考えていただく機会となりました。

ニホンライチョウ保護増殖

◎通年
山岳博物館で生まれた卵や、上野動物園から来た卵から 6 羽が孵化し、そのうちの 4 羽が大きくなりました。成鳥も含め 7 羽（オス 3 羽、メス 4 羽）を飼育中です。

付属園まつり

◎4 月 29 日～5 月 7 日
付属園で飼育している動物に焦点をあてたイベントをゴールデンウィークに開催しました。
ニホンカモシカをモチーフにした大町市のマスコットキャラクター「おおまぴょん」の登場もあり、家族で楽しんで学べる場となりました。

セミの抜け殻探し

◎8 月 4 日
身近なところで起きている自然の変化を知るために、セミの抜け殻の種類と数の記録を残す取り組みは今年で 5 年目です。
抜け殻を観察して種類を決めるには注意が必要で、大変な作業です。
（長野県環境保全研究所との共催）

大町登山案内人組合創立
100 周年記念事業実行委員会 共同企画展

「北アルプスの百年　百瀬慎太郎と登山案内人たち」

◎平成 29 年 8 月 5 日（土）～11 月 26 日（日）開催
創立 100 周年を迎えた大町登山案内人組合ゆかりの写真や品々を展示。その足跡と存在を全国に発信し、北アルプスの魅力を紹介しました。

長野県山岳総合センターとの連携講座

8 月 11 日（金）には、総合センター主催の講座「信濃大町の山と人 100 年の歩み」に、9 月 9 日～ 10 日には湯俣噴湯丘見学会の講師として博物館職員が協力し、9 月 24 日（日）の山博主催の「カクネ里現地見学会」にはセンター職員の協力を受けて開催しました。

大町市「山岳文化都市宣言」15 周年記念講演会

鹿島槍ヶ岳カクネ里雪渓（氷河）学術調査団は語る「秘境　カクネ里とは」

前日は調査団員からご講演いただき、翌日は小遠見山からカクネ里の眺望を楽しみました。

さんぱくこども夏期だいがく

「雑草・雑木で和菓子と楊枝をつくろう」

◎平成 29 年 8 月 3 日（木）
午前 9 時 30 分～正午
オオバクロモジの楊枝をつくり、くず粉で「くず餅」をつくり、おいしくいただきました。

カクネ里雪渓（氷河）学術調査が終了

2014年度から継続実施されていた「鹿島槍ヶ岳カクネ里」学術調査も6月にカクネ里内での地形地質調査を行うことができ、貴重な学術的成果を得ることが出来ました。
10月には残置物の回収作業を行い、4ケ年にわたった現地調査を完了としました。
1月には、カクネ里雪渓の大きな氷体が流動していることを述べた論文が学会誌に掲載され、氷河であることが認められました。

鷹狩山　春のバードウォッチング

◎平成 29 年 5 月 13 日（土）
午前 9 時～正午
当日はあいにくの雨模様。座学に変更しての開催となりました。

木崎湖　冬のバードウォッチング

◎平成 29 年 11 月 19 日（日）
午前 9 時 30 分～正午
小雪がちらつくなか、水鳥を中心に観察しました。

◎通年実施
他機関へ学芸員らが出向くなどして講座や各種学習会で講演・解説等を行いました。今年度は例年に増して多くのご依頼があり、北アルプスの自然や歴史文化について関心を深めていただきました。

出張講座

ニホンカモシカのマーキング

スパールバルライチョウの飼料滞留時間調査

◎8 月 16 日～ 8 月 18 日
スパールバルライチョウが食べた餌がどのくらい体内に留まっているかの調査をしました。無害なマーキングを餌に入れて、半日は 1 時間毎に、後は 2 時間毎に 2 日間の糞を回収し、現在、分析を行っているところです。（ライチョウ生息域外保全プロジェクトチームの研究課題として京都府立大学が協力）

◎11 月 20 日～ 12 月 28 日
ニホンカモシカの眼下腺がカモシカ間のコミュニケーションに使っていると考えられていましたので、他個体の眼下腺にどのような反応をするかを調べました。コミュニケーション行動の明瞭な結果は得られませんでしたが、臭いに対する反応など多くの貴重な事例が記録できました。（麻布大学との共同研究）

学校との連携授業（市内小学校の博物館活用事業）

◎通年実施
博物館では展示を利用した学校との連携授業を行っています。今年度は理科や社会科の各学習プログラムを大幅に増加し、市内全小学校に来館していただきました。

職業体験学習

◎通年実施
中学校や高等学校におけるキャリア教育支援、専修学校でのインターンシップ受け入れ等、学校教育における学習の場として当館を活用していただいています。

博物館実習・教員研修

◎平成 29 年 8 月 1 日（火）～6 日（日）
※うち 8 月 4 日（金）・5 日（土）が教員研修
夏休み期間中、学芸員資格取得に向けて学ぶ大学生による博物館実習のほか、異業種体験を行う学校の先生による教員研修の受け入れを行いました。